



令和2年8月5日

文責・ 第22歩

へうし〜カ!

表現するための武器 ～視覚的にはっきり示す～

子どもの言葉には、数学的な見方・考え方が見え隠れするものがあります。見え隠れするからこそ、その言葉を取り上げ、価値づけを行う必要があると考えています。また、授業内で価値づけを行うだけに留まらず、教室に掲示し、視覚的にはっきり示すことが大事です。数学的な見方・考え方が働いた表現を継続的に価値づけ、使えるようにしていくためです。

以下に挙げるものは、実際に授業やノートに子どもから出てきた言葉です。教師が一方向的に提示している話型ではありません。形式的に言葉を教え込むのではなく、子どもが感覚的に紡ぎだした言葉を取り上げ、価値づけ、意識的に使えるようにしていきたいです。

4年組
既習の事項と結び付ける統合的な考え方が働いている表現。

① 今までの学習とくらべる
きのうまでは〇〇だったけど、今日は...

120まいと6人で分けるとき
大 $120 \div 6 = 20$

100を10に分ける
100 100 100 100 100 100 100 100 100 100
答え 1人分20まい

100が10のまとまりで、100のまとまりで分けられるというのが分かったし、100を10に分けられるというのが分かりました。

・〇〇といっしょで...
・〇〇でも同じ考え方でできる。

表現力アップ大作戦!

田中さん
まず〜くわしく言うと〜

白鳥さん
〜なはずなのに、

福井さん
だとすると、〜

丸山さん
〜まではあてるけど、もし、〜なら〜なってしまう。

井上さん
つまり、〜

- 4年組
- ・「まず〜」は、順序良く整理しながらの表現。
 - ・「くわしく言うと〜」は、より明瞭な表現。
 - ・「〜なはずなのに」「だとすると」「もし〜」は、仮定したり、適用範囲を広げる表現。
 - ・「つまり」は、より簡潔な表現。

算数の目

もし〜だったら、具体的な例を挙げて説明する。「例えば」

「なんで〜かという、〜だから...」
なぜそうなのかの理由を説明する。

考えたことを図で表現する。

吹出し使ったり...
色分けしたり...

今までは...〜といっしょ、今まで学習してきたこと、同じところ(共通点)を見つける。

- 6年組
- ・「図で表現」は、根拠を明らかにする論理的な表現。
 - ・「例えば」は、数字や事例を置き換え、より分かりやすくする表現。